

クアラルンプール日本人墓地 春の法要（２０１４年３月９日）

宮川大使挨拶

皆様、おはようございます。

ただいまご紹介にあずかりました宮川でございます。

先刻より、この地に眠る５６０を超える方々のことを考えています。同じアジアの中にいるとはいえ、遠い異国で、気候も習慣も衛生環境も異なる中で、それぞれの思いや決意を胸に、人生を全うされたそれぞれの足跡を想像すると感慨一入です。

中には戦いの中で防戦中に落命された方、あるいは事業を興しこの地に富をもたらした後に逝去された方、または、思い半ばで倒れられた方など、そうした方々のことを諸先輩が残すマレーシア全土の日本人墓地の記録は綴っています。

それら多くの、この地に眠る先人の生前の様々な努力の上に、今日ある両国民の友誼が築かれていることを思うと、万感胸に迫るものがあります。

本日この機会に改めて、墓地を真心を込めて維持管理していただいている塚田会長はじめ日本人会の皆様に深く感謝申し上げます。また、日本人学校の先生方、生徒さんや日本航空の皆様には年に数回お墓の清掃をしていただいております。さらに、本行事の準備に御協力いただいた日本人会カトリア会の皆様に、感謝申し上げます。

そうした皆様の御人徳により、こうして丁重に同胞先人の供養をさせてきていただいておりますが、マレーシア全土には他にも数多くの方々が人知れず眠っておられるのではないかと思います。

本日は、春の御彼岸を前に、それら先人の御苦勞に思いを馳せ、共に冥福を祈り、今の時代にこの地に生きる我々日本人に、勇気と加護を賜りますようお願いの次第であります。

以上